

将棋大会 結果

豊橋ふれあい子ども将棋教室

辻村 隆介

1. 大会名 第5回 豊橋ふれあい親子ペア将棋大会
2. 開催日 平成30年8月26日(日)
3. 会場 アイプラザ豊橋
4. 主催 豊橋ふれあい子ども将棋教室
5. 結果 入賞者は以下の通り

	優勝	準優勝	第三位
決勝 トーナメント	野村 權・憲二 ペア 名古屋市	山村 健琉・拓也ペア 豊川市	櫛田 征志・明裕 ペア 名古屋市
	豊橋市長賞	教育委員会賞	第三位
敗者 トーナメント	加藤 洋己・雅之ペア 豊橋市	坪井 絆・明子 ペア 名古屋市	中根 由希奈・治男 ペア 岡崎市

6. 大会の様子

2組の親子ペアが4組ずつA~H 8つのグループに分かれて、午前10時20分から予選リーグを戦い、午後からは各グループ上位2組が決勝トーナメント、下位2組が敗者豊橋市長杯争奪トーナメントで白熱した戦いを繰り広げました。

昨年は36組のペアを受け入れたため、トーナメントを組むのに四苦八苦した経験を踏まえ、東海普及連合会、愛知県連合会協力の下、応募組数32が締め切り日の2週間前には埋まり、以後キャンセル待ち5組確保の上、実際、キャンセル3組が出て対応することができました。

今回参加ペアのうち、豊橋市から13組、豊川市2組、西三河地域4組、名古屋市6組、名古屋以外の尾張地域5組、浜松市1組、伊賀市1組の構成。出場最高齢者は82歳の祖母で、本来はペアを組むべき父親53歳が急遽海外出張になったため、ピンチヒッターで出られた豊橋のペアでした。何とも微笑ましく、将棋を指すことで親子が意志疎通を図り、一体となり、絆を深めている姿が見られました。勝負の結果にこだわらず、精一杯力をつくしてお互いの健闘を称えあい、家族同士が友好を深めながら、明るく楽しむ雰囲気が会場内熱気とともにあふれていました。

ペア大会の同じ会場内 別の画で、杉本昌隆七段による指導対局が行われ、18人が受講し、先生から懇切丁寧なレッスンを受けた生徒さんは、皆、感無量の面持ちでいました。

決勝戦は対戦ペアが壇上正座して足付き将棋盤に向かいあい、直上カメラから映し出された盤面モニターに杉本七段による大盤解説を加えながら、対局を会場内観客に実況中継する形をとり、まさに公開タイトル戦の臨場感を味わうことができました。



以上